

平成 30 年 2 月 13 日

八潮市長 大 山 忍 様

八潮市庁舎建設基本構想策定審議会  
会 長 平 石 正 美

八潮市庁舎建設基本構想の策定について（答申）

平成 29 年 6 月 6 日付け八潮財発第 171 号で諮問のあったことについては、当審議会において慎重に調査・審議した結果、下記及び別添「八潮市庁舎建設基本構想（案）」のとおり答申します。

#### 記

平成 28 年に決定された「八潮市庁舎耐震化方針」に基づき、平成 29 年 6 月に第 1 回審議会を開催し、7 回にわたり調査・審議を行ってきました。会議では、活発な議論が展開されました。

審議にあたりましては、ワークショップ、市民アンケート調査、パブリックコメントを実施し、広く市民や利用者目線の意見を反映できるよう努めました。

今後の基本計画の策定及び基本設計では、将来、市庁舎を利用する若い世代の意見も取り入れながら、次のことを踏まえ新庁舎整備を推進されることを期待します。

- ①耐震性を早期に確保し、安全・安心につながるよう災害時における防災拠点、また、まちづくりの拠点となる庁舎であること。
- ②八潮らしさの確立や他の施設との複合化・集約化の検討により、市民が誇りを持てる魅力のある庁舎であること。